

琉球大学学術リポジトリ

献呈の辞

メタデータ	言語: 出版者: 琉球大学法文学部 公開日: 2009-12-21 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 玉城, 勲, Tamaki, Isao メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/14188

献呈の辞

幸地成憲先生は、本年三月末日をもって本学を定年退官されることになりました。

先生は、昭和三〇年一〇月に本学に赴任され、以後実に三七年半の長きにわたって、本学の発展のために御尽力されてこられました。私達法学、政治学の教官一同は、先生の多年にわたる御活躍、御功績を讃え、感謝の気持ちの一端を表すために、ここに、『琉大法学』第五〇号を先生の御退官の記念論文集として編集いたしました。

幸地先生は、研究の面では特に復帰前の米軍統治下の困難な時代において沖縄における労働法の分野での第一人者として活躍されました。とりわけ、当時の琉球列島米国民政府による布令一一六号「琉球人被用者に関する労働基準及び労働関係法」(いわゆる軍労働法)の問題点を指摘して、同布令に対する全国的規模での関心を呼び起こし、このことがその後、同布令がさらに被用者に不利に改正された際に一か月ほどで米国民政府に改正を撤回させるにいった全県民的規模での反対運動に大きな影響を及ぼしました。また、教育の面では学部および大学院において熱心に学生を指導され、多数の有為な人材を社会に送り出してこられました。学内行政にあたっては、評議員を始め各種の委員会の委員を歴任されましたが、とりわけ本学のキャンパス移転時に図書館長として図書館の移転に御尽力され、また全国から多数の参加者を迎えた第二八回国立大学図書館協議会総会の開催について当番館の長として活躍されました。また、教官の自主的な組織である琉球大学教授職員会の会長をお務めになられました。学外における御活躍もめざましく、復帰前の琉球政府中央労働委員会委員、琉球政府船員労働委員会委員、復帰後の沖縄県地方労働委員会委員といった労働委員会公益委員を長年お務めになって、沖縄の労使紛争の解決に多大な貢献をされたほか、琉球政府司法試験考査委員会委員、沖縄人権協会理事、沖縄県臨時行

政改善調査委員会委員などを歴任されました。

幸地先生は正直すぎるほどの謹厳実直なお人柄でいらつしやる反面、明るく、ユーモアを解され、いつもささくに声をかけて下さり、周囲の者への配慮を忘れない、そのような性格の持ち主であられるため、教官のみならず事務職員、学生も先生を知る者で先生に心服し先生を敬愛しない者はおりません。その幸地先生がいよいよ本学を去られるという事で惜別の情を禁じ得ません。

御退官後も先生がいつまでも御健康でますます充実した日々をお過ごしになられるよう祈念いたしますとともに、今後も本学科のために貴重な御助言をたまわりますようお願い申し上げます。ここに、先生の長年のご労苦をねぎらい、感謝をこめて、ささやかなものではございますが、謹んで本論文集を捧げます。

平成五年三月

法学学科主任

玉城 勲